

子育てママ目線で 声を届ける

芦屋市議会議員

たかおか知子^{ともこ} 市政報告

市民の皆様の願いをカタチに！

住民の暮らしやすさを正しく把握して、満足度を知ることが行政運営の本来の意義だと重要視してきました。例えば、こんな出来事がありました。県企業庁の土地である南芦屋浜地区の生活利便性施設ゾーンでホームセンター（ケーヨーデイツー）が立ち退き、跡地に中古車販売店との契約が持ち上がっていた時のことです。ちょうどその頃に、私は住民意識調査アンケートを行っていたのですが、多くの方は住み続けたいと思われている一方で、生活利便性が低いと思われており、この区域で最も望んでいる店舗はホームセンターであるという結果が明らかになりました。このことを一般質問で伝えると、行政側も市民の思いに深く理解を示し、地元自治会の方々をはじめとする住民と市職員との粘り強い県企業庁への働きかけのおかげもあり、ホームセンター（コーナン）が新たなテナントとして決定しました。一般質問では皆様のお声がとても貴重です！

この他にも、交通安全対策について広くご意見を集めたところ、通学路や信号機など日頃の生活で市民が直面する身近な道路では、市職員が気づけていない危険や疑問を感じておられるということを教えていただきました。私たち市民と行政が力を合わせてつくりあげる芦屋市を目指したいと考えており、市民の皆様の願いが届くサポートをしてまいります。

たかおか知子
の一般質問



たかおか知子
の公式HP



たかおか知子
の公式HP



芦屋保健所統合案「一旦差し止め！」

兵庫県は芦屋保健所を窓口のみ残して宝塚保健所と統合し、令和4年に分室化する方針を明らかにしていましたが、同年1月18日の兵庫県議会で「行財政運営方針の見直し」についての委員会が行われ、一旦凍結となりました。統合の方針が示された頃は、まだ新型コロナウイルス感染拡大前でしたが、いち早く芦屋保健所の存続の重要性を感じていた私は、保健所機能の強化について、当局に意見しておりました。最初は少ない理解の中での要望でしたが、コロナ禍で徐々に市内で存続を求める声が広まる状況となっていき、令和2年9月に「保健所統廃合に関する意見書採択を求める請願」の紹介議員となりました。全会一致で採択がされた後に議員提出議案として「芦屋保健所の存続を求める意見書」を芦屋市議会から国と県へ提出しております。今後も兵庫県の方針に注視してまいります。

芦屋警察署の現状と課題解決について

芦屋警察署の野上和志署長とお会いして市内の犯罪状況についてお話を伺いました。兵庫県警では平成28年頃からサイバー犯罪、SNSを使った新しい犯罪が増えてきたことで、それに対応できる組織にするということが大きなテーマです。自宅に駐車中の車両を狙う車上荒しの被害が多いので、防犯対策に努めて下さい。



最新の犯罪に対応できる組織にするためには、抜本的に組織を見直し、人とお金を捻出して部課を強化する必要があります。警察体制を充実させるには警察官の人数が多いほどパトロール任務が強化されますが、警察官の数には限りがあるため交番を統合して、巡査の対応を強化する検討が進んでおります。芦屋市民の皆様が安心して暮らすことができるように、安全な街となることを第一に考えて取り組んでいただける組織体制になっていくことを期待しております。

JR 芦屋駅南地区再開発事業の遅れによる影響

1. バス路線の再編など、交通機関との交渉ができない

JR 芦屋駅南側の道路やロータリー整備が遅れているのは、市議会の多数派が止めてきたからです。これらの交通結節点整備が進まないで車と歩行者が混在し、危険と隣り合わせの交通課題が解決されません。市民が望んでいるバスの増便など、市内全域の交通利便性に影響する交通機関との交渉を進めることができません。

2. 国費をしっかりともらい、少ない市の負担で執行する機会を逃した

事業が本格化し予算額を大幅に増やす予定だった令和2年度は、高い内示率で国庫補助金をもらえることになっていました。予算が否決されていなければ、その年度は少ない市の負担額で事業を進めることができるはずでしたが大きなチャンスを一度逃がしています。総事業費の中で財源に影響するのは市の負担額であり国の補助金の支給額によって、予算の歳出に影響を及ぼします。

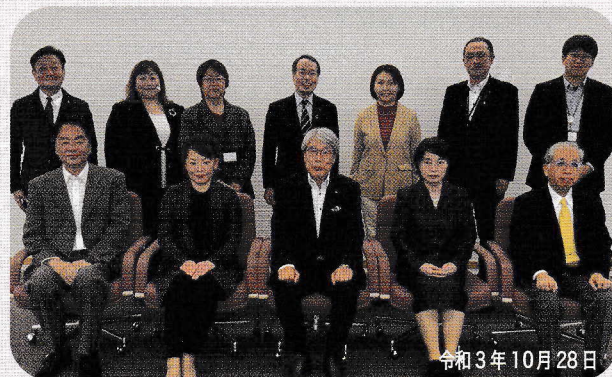
3. 事業計画が長期に渡ることで、人件費とコストが増え続ける

予算が議会で認められなくてもこれ以上引き延ばし事業手法を変更する考えは行政にはありません。これまで長い月日をかけて慎重に計画を進めてきた職員の労力を人件費に置き変えると、多くの時間と経費がかかっており、その税金を無駄にはできません。事業計画の変更や遅れと共に人件費などコストは増え続けます。

民生文教常任委員会で副委員長をしています

委員会では、健康・子育て・学校教育・環境・スポーツ・福祉・文化に関する施策や、新型コロナウイルス感染症対策を審議します。子育て世帯への臨時特別給付金は10万円を現金で一括支給と決まり、所得制限で約5,000人に対する35%の人が給付対象外です。所得制限を設けなかった場合、財源から約5億円の支給になります。困窮世帯へ支援するという福祉的な要素を含む施策であれば所得制限が設けられるのも納得しますが「コロナ禍子どもの未来応援給付金」と言うのなら保護者の収入にかかわらず子ども全員に与えられる権利を尊重し平等であってほしいという市民の声もあります。

民生文教常任委員の7名と、教育長と4名の教育委員との懇談会を行いました。



議員提出議案第 25 号、問責決議を提出

令和3年10月8日の本会議で、大塚のぶお議員（元会派 BE ASHIYA）に対する問責決議を提出しました。ハラスメント調査結果によると、令和2年6月16日の本会議で当該議員が行った一般質問での発言内容と、市職員の証言には大きな食い違いがあったのです。同課の8名が提出した「パワハラ調査を求めた申出書」と新聞報道の「過度な激しい叱責を受けた職員の文書」という1名のパワハラ事象は別の話でした。しかし当該議員の言動を皮切りに、マスコミを通じて誤解を招くパワハラニュースが広く知れ渡ったことによって、市のイメージが悪化し、市政全体に多大な影響を与えていたことが調査報告書でわかりました。当該議員は市民を混乱に巻き込む事態を招いていたこととなります。（※会派 BE ASHIYAは令和3年11月に解散しています。）

提出者の8名が調査を求めた申出書とは？

【×】議員「過度な叱責を受けたパワハラ調査」 ▶ 【○】当事者「時間外勤務の承認に係る手続きの調査」

パワハラで心身の不調を来す申入書提出者は？

【×】議員「複数いた、パワハラが原因である」 ▶ 【○】当事者「そんなことを誰も言っていない」

市の対応は不適切だったのか？

【×】議員「市は組織的な疑惑隠しをしている」 ▶ 【○】職員「新聞報道の職員の文書を見た者はいない」

●重大な問題を起こしている！

調査中の申出書は、公文書ではなく漏らしてはいけない秘密事案であり、ハラスメント指針に基づくプライバシーが保護されなければいけません。相談内容が外部に漏れないことを前提とした提出者の機密な個人情報、当事者の了解も得ずに暴露することは個の侵害にあたります。更に、当該議員はこの情報を「市役所内部からもらった」と発言しており、公務員が職務上知り得た秘密を当該議員に漏らしていたこととなります。また、申出書の中身の確認もしないで、提出者の誰からも合意をとらずに、安易に議会で取り上げていました。本来は安心して提出者が調査を依頼できるように、慎重に取り扱わなければいけなかった人権問題を公にして市役所の規律を乱したことは、誠実かつ公正に職務を行わなければならない規定に違反すると考えました。

●公務員には守秘義務がある！

地方公務員法第34条で守秘義務が定められています。「職務上知り得た秘密」と「職務上の秘密」を漏らした現職の公務員は懲戒処分、刑罰の対象（1年以下の懲役または50万円以下の罰金）、退職者も刑罰の対象です。

●真意が伝わらなかった議決結果！

私は山口みさえ議員と共に問責決議の議案提出者となり、他の議員からの質疑に答え理解を求め続けましたが賛成多数には届かず否決となりました。議員の政治倫理の基本が抜け落ちていた重大な問題であると受け止めていただけず、反対議員からは調査不足と判断され、当該議員の言動は「功績である」とたたえる発言までありました。しかし、市民と職員の信頼を失う行為をしていたことに違いはありません。大切なことは二度とこのような事態を起こさないことであり、今回の件を議員の過ちとして認めることで議会全体として共通認識を持っておかなければ、ハラスメント防止が活かされていないと感じており、健全な議会運営を願います。

たかおか知子の公式HPで解説！

問責決議の
趣旨説明



問責決議の
審議結果



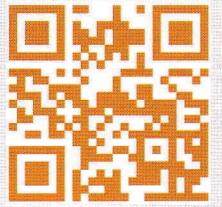
【防災訓練を実施】

緊急を要する時にこそ、議員同士が力を合わせて連携して、市民の要望に応えていける芦屋市議会を目指してまいります。





『たかおか知子ホームページは
随時更新しています!!』



たかおか知子

検索



『SNSで情報を発信しています!!』

<https://linktr.ee/takaoka.tomoko>



etc

芦屋市議会議員 孝岡知子(たかおか ともこ)
事務所: 清水町
居住地: 南芦屋浜(潮芦屋)
TEL: 070-4332-6414
E-mail: mail@takaoka-tomoko.me

発行:あしやしみんのかえ 発行年月日 2022.2

尼崎市の稲村和美市長と懇談、無所属議員で行政視察



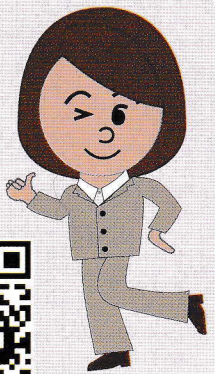
左から 須田和 [尼崎市議]・孝岡知子 [芦屋市議]・川口良江 [長岡京市議]
稲村和美 [尼崎市市長]・鈴木久美子 [伊丹市議]・桂睦子 [茨木市議]

私は政党に属していない無所属議員です。そのため、政党の施策やしがらみに縛られることなく、芦屋市に特化した考え方で賛否を判断することができます。子育て支援や女性のサポートに関心が高い他市の無所属議員と一緒に、令和3年11月に尼崎市を視察しました。子どもの育ち支援センター、ユース交流センターの施設見学や、「はたらきガイド」という役所が求める職員の人材育成、昇任の制度などを学んでまいりました。全国的に抱えている課題や目指していることが同じである無所属女性議員だからこそ共感でき、今後も情報交換をしながら政策の幅を広げてまいります。

たかおか知子の市政報告会を開催!

2022年 3月26日(土) 13時半より 潮芦屋交流センター2階

たかおか知子の市政報告会では、芦屋市政の内容に限らず、日常生活で感じておられる些細なことなど、気軽な会話を楽しんでいただける会にしたいと考えています。たかおか知子の市政に関する話題、応援ゲストと対談、整理収納のワークショップを開催します。詳しい内容・お問い合わせ等は、右のQRコードよりホームページをご覧ください。電話でのお問い合わせは [070-4332-6414] にお願ひします。



[司会・応援ゲスト] キッズコーチング講師

[応援ゲスト] 整理収納アドバイザー講師



川崎 千佳 さん

育児と食の専門家/Luck食コーチング協会
理事長/親子コミュニケーション講演家
キッズコーチングを通して、魅力あふれる
人材育成をミッションとしている講師。



西口 理恵子 さん

セミナー受講者数は22,000人、著書多数。
整理収納・インテリア・美を総合した
【美人収納®】を全国にて直接指導している。
企業内整理収納マネージャー認定講師。